

## 出題意図

武蔵大学人文学部ヨーロッパ文化学科ではヨーロッパ世界の文化に強い関心を持ち、将来、社会人として日本とヨーロッパの交流の担い手になる意志のある人を求めています。本学科での学びにおいて重要なのは、ヨーロッパ文化について書かれた文献や資料を読み解き、それらに基づいた精緻な思考を展開し、自ら文章にまとめる力であり、小論文問題ではこうした力を測ることに主眼としています。また入学後はドイツ語またはフランス語を中心とした外国語の習得が必要となりますので、基本的な語学力（英語、ドイツ語、フランス語のいずれか）を確認するための語学力判定問題も出題しています。

今回の出題文は、戦争や災害、暴力による「他者の苦しみ」を、映像や写真といったイメージを通して安全な場所から見つめる私たちの在り方を問いかけるものです。本問では、まず筆者の主張を的確に読み取る読解力、世界で起きている出来事を自らの問題として捉える思考力が問われます。さらに、現代社会に生きる一人の人間として世界情勢に関心を持ち、関連する歴史や文化的背景を踏まえつつ、「他者の苦しみ」や国際的な問題にどう向き合うべきかを論理的に考察する力を、小論文を通して評価します。